

ファミリー

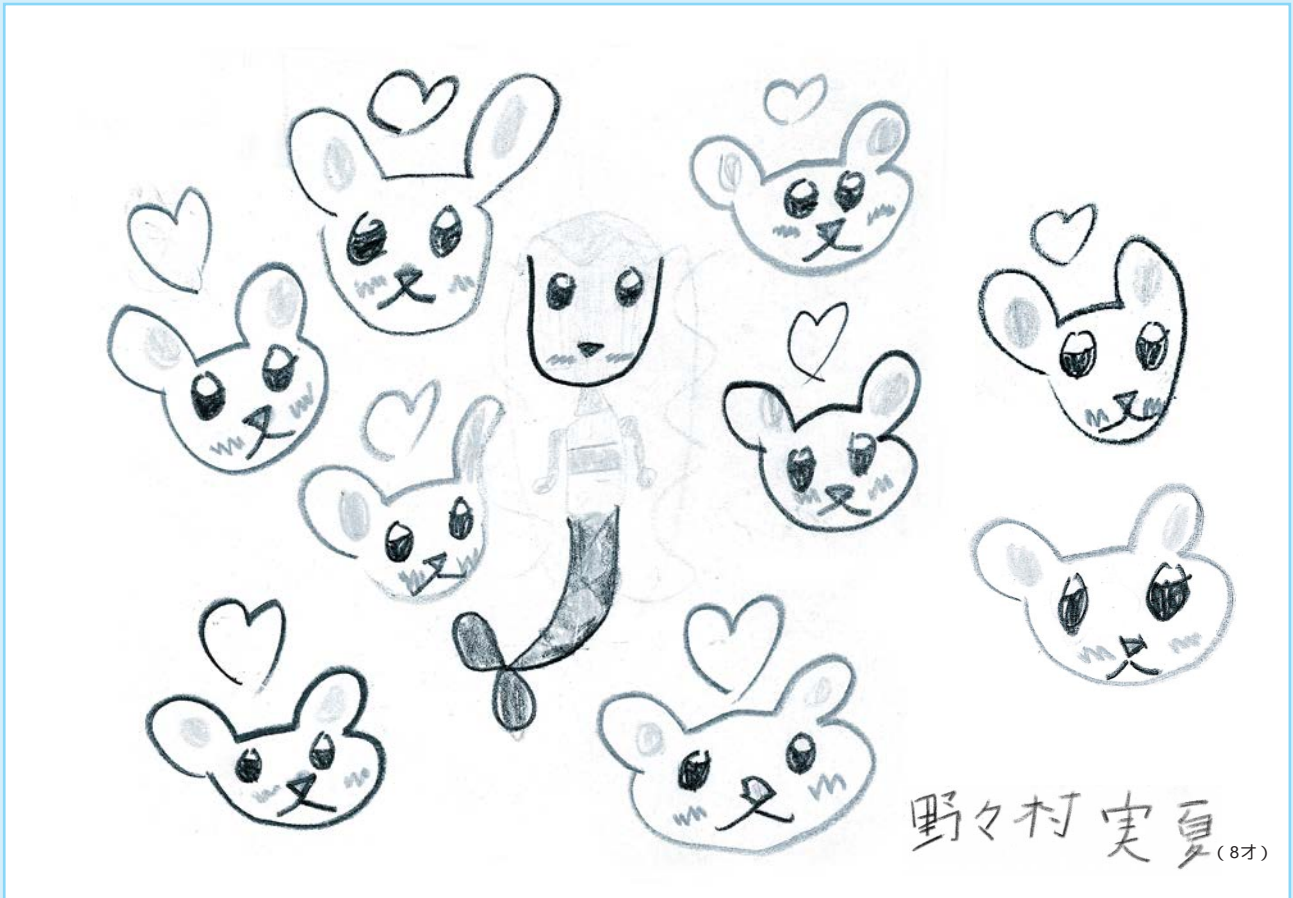
f a m i l y s u p p o r t

サポート通信

手助けが欲しいあなたと手助けをしたいあなた
“困ったときはお互いさま”のネットワークを
このまちにひろげてみんながしあわせに！

平成16年10月発行 第5号

1



地域に根ざした仕事と家庭の両立支援

ファミリー・サポート・センターは、働く女性が毎年増加する状況の中で、都市化、核家族化の影響で低下した地縁・血縁に代わる相互援助の仕組みとして平成6年度に労働省（現厚生労働省）が「仕事と育児両立支援事業」として創設しました。この創設の背景には、特に通勤時間の長時間化や勤務形態の多様化の中で、既存の保育施設では応じきれない二重保育や緊急な保育など変則的、変動的な保育の必要性がありました。

他方、従前の大家族や地域社会が支えてきた機能の低下は、雇用されている女性の問題だけではなく、家庭で母親だけが育児を担うことが多くなり、そのため育児不安を抱え、子育ての負担を感じる専業主婦が多くなるという状況も生み出しました。厚生労働省は、これらの問題にも対応するため、平成13年度より仕事と家庭両立支援策に加えて児童の福祉とい

う目的も果たすため、子を持つ全ての親に援助の対象を拡大しました。

日野市は、こうした国の施策の以前（平成2年）から「相互援助活動」を実施していますが、国や都の地域で子育てを援助する一連の施策と相俟って充実してきています。しかし、充実の反面、需要が急激に拡大するという課題があります。これらに対応するためには、行政だけではなくNPO等が公共の領域に関与し、サービスを展開することが考えられます。

地域社会における子育て支援や妊産婦支援等の仕組みを支えるものは、幅広い市民の参加としっかりしたパートナーシップの構築であると考えられます。ファミリー・サポート・センターは、こうした仕組みによって担われる会員組織です。地域に根ざした会員組織として、地域の子育て力に支えられながら今後の発展が期待されます。

日野市男女平等課 関 辰三

日野市ファミリー・サポート・センター

〒191-0062 日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館 2F

ひとりで悩まず困ったらまずお電話を tel&fax 042-589-7616

困ったときはお互いさま！

日野市ファミリー・サポート・センターは、日野市の委託を受けてNPO市民サポートセンター日野が運営しています。NPOの前身である日野市女性社会事業協会では、全国に先駆けて、市民の相互援助活動を実現してきました。その経験をいかし、柔軟で質の高いファミリー・サポート・センターをめざします。

今度は私が恩返し

提供会員 酒井美紀子さん



今から14年前の8月に、長女は誕生しました。その2年前、最愛の母を失った私にとって、母の生まれ変わりとも思える娘の誕生はこの上ない喜びでした。しかし出産を待ちわびる一方で、退院後のことを考える度、気が重くなったのも事実です。(夫の両親は早くに他界)

そんなとき広報で女性社会事業協会(NPOの前身)の発足を知り、早速申し込みました。出産当日の早朝、車のなかった我が家は親切な隣家のAさんをお願いして、産院まで乗せていってもらいました。入院後1時間もしないうちに、無事長女が誕生。Aさんはその日、再び花束を持って、駆けつけてくださいました。

気がかりだった3歳の長男は、入院中関西の姉に来てもらい、退院後は女性社会事業協会の2名の方に、大変お世話になりました。嫌な顔ひとつせず、洗濯や食事作りの合間に息子の相手をしてくださったことを思い出すと、感謝の気持ちで一杯です。あれから14年。今度は私が周囲に恩返しをと考えています。



酒井さんは、女性社会事業協会時代の利用第1号の依頼会員さんで、今は提供会員として活動しています。そのとき生まれたお嬢さんは、もう中学生。(写真上)

保育サービス講習会を受けて

提供会員 星谷明美さん

二人の娘たちも成人し、空いた時間を人のために役立てたいと、保育サービス講習会に参加しました。

考えていたより責任の重さを痛感させられました。講師の方々のわかりやすく楽しい講義に、自分の子育て時代を思い出しながら受講しています。スポーツ飲料に含まれる多量の糖分に驚いたり、楽しい手遊びや歌に心が和んだり、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

自分の子育てを思い返せば反省することばかりですが、若いお母さんと子どもの日々の成長を見守ることができるようにと願い、残りの講習をしっかりと受講していきたいと思っています。



室内で危険な場所がどこか意見を出し合いました。



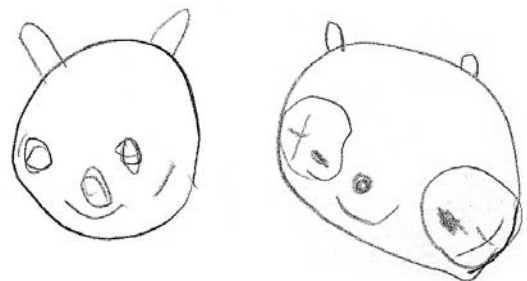
「家庭内事故と安全」について解説する講師の滝沢清美さん(助産師・保育士)

秋の保育サービス講習会やステップアップ講座などのお知らせは3ページをご覧ください。



保育支援活動中にうちとけてお絵描きを楽しむ

二平真弓ちゃん
(3歳)



友希ちゃんの大好きな「にっこりのマイナとねむそうなプラスル！」

画：江里友希ちゃん(4歳)

INFORMATION

ファミリー・サポート・センターでは、安全に保育支援活動ができるよう、依頼会員さんが安心して提供会員さんにお願ひできるよう、保育サービス講習会を毎年開催しています。おかげさまでこの間、事故につながるケースは発生していません。今後もより充実した講習の機会を提供していきます。



保育サービス講習会

受講申し込み 10月25日(月)までにセンターへ

6月からスタートしている保育サービス講習会の第4回、第5回が開催されます。今年から受講されている方、また補講の方もお忘れなくご参加ください。出・欠席を10月25日(月)までにセンターへご連絡ください。

	日 時	テーマ	講 師
第4回	2004年11月4日(木) 9:30~11:30	子どもの世話 いまどきの育児	東府中病院 助産師・保育士 滝沢清美 氏
第5回	2004年11月8日(月) 9:30~11:30	心の発達2 扱いにくい子ども	日野市立第7幼稚園 園長 倉本智恵子 氏

場所 多摩平の森ふれあい館 3F 集会室6にて
なお第6回以降の講習会は1月の予定です。



ステップアップ講座 救急救命講座

受講申し込み 10月25日(月)までにセンターへ

今年度の保育サービス講習会を受講中の提供会員で、7月21日の「家庭内事故と安全」を受講していない方は、下記のいずれかご都合の良い日を選んで必ず出席してください。大切なお子さんを預かる際に知っておきたい救急法を、日本赤十字社のテキストで学びます(テキスト代1000円。受講されますと日本赤十字社から修了証が発行されます)。

また、既に安全講座を受講済みの提供会員や依頼会員でも、ご関心のある方はぜひ受講なさってください。各回10名ほど、ステップアップ受講としての受付枠があります(なお希望多数の場合は提供会員を優先させていただきます)。

日 時	テーマ	講 師	
2004年11月9日(火) 9:30~12:30	家庭内事故と安全 救急救命講座	日赤幼児安全法指導員	11月と2月の講座内容は同じものです。 大判ハンカチ(バンダナ)をお持ちください。
2005年2月3日(木) 9:30~12:30	家庭内事故と安全 救急救命講座	日赤幼児安全法指導員	

場所 多摩平の森ふれあい館 3F 集会室6にて

簡単クッキング 乾さんの料理教室

定員20名
参加費無料

11月30日(火) 10:00~12:00
多摩平の森ふれあい館 3F 調理室

提供会員の乾節子さんに「一時間で作れる 簡単でおいしい料理」の作り方を教えていただきます。家事支援活動に、また忙しい日の食事作りに役立つ料理を教えていただきながら、会員相互の交流を深めましょう。提供会員の方も依頼会員の方も参加できます。

お申し込みはお電話かFAXで、
11月25日(木)までにセンターへ

ファミサポ Q&A

Q: 依頼した活動内容が、事前打ち合わせのときと変わった場合は、どうしたらよいですか？

A: 小さな変更であるならば提供会員に連絡し了解を得てください。内容が大幅に変わる場合は必ずセンターにご相談ください。また提供会員の了解を得られなかった場合は、別の方をお探しします。その方とは事前打ち合わせを行った後で、活動を依頼することができます。

センターからのお願い ボランティア募集



会員登録総数 673名

依頼会員 418名

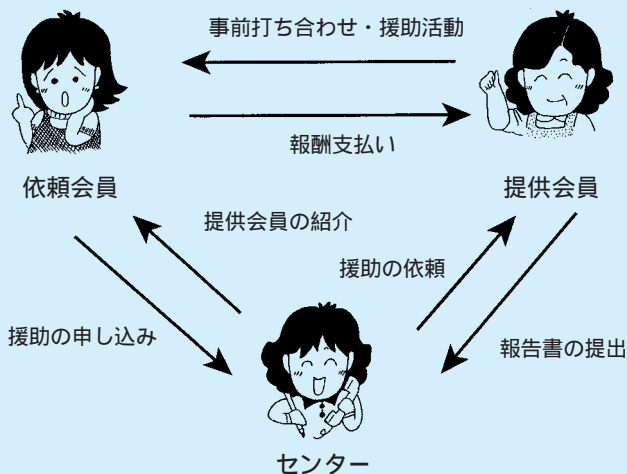
提供会員 219名

両方会員 16名

(保育・妊産婦・家事・高齢者 援助)
2004年8月末現在

センターの活動をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。通信の編集や交流会の企画・運営にご協力ください。講習会では経験談やアドバイス等、幅広いサポートをお願いします。地域をよく知っている皆さん、助け合いのネットワークを広げ、活かすために、あなたの知恵と力を貸していただけませんか。センターまでご連絡ください。

ファミリー・サポート・センターのしくみ



新しいスタッフ紹介

8月末に退職された深津順子さんの後を受けました山口克代です。人とかかわる活動をしたいと思っていました。その中でいろいろ学んでいきたいと思えます。

編集後記

新しいNPOでファミリー・サポート・センターの仕事を受託して6ヶ月が過ぎました。多摩平の森ふれあい館にある事務所には、毎日子どもたちの笑い声や泣き声が響き、子どもにとっても大人にとっても暮らしやすいまちづくりのために私たちにできることはないかと、ますます意欲をかきたてられます。これからご協力お願いいたします。通信に原稿・写真を提供して下さった皆さま、ありがとうございました。(Y.Y)